

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	33100	消防車両整備事業	予算科目	会計	一般	款	9	項	1	目	1	事業種別	消防本部	担当班	警防課
基本施策				30		消防力の強化	根拠法令	消防組織法、消防力の整備指針								☒	主な事業		
施策の展開				58		常備消防体制の充実	戦略事業	256 消防車両の整備								☒	国土強靱化地域計画		
施策の展開																☒	新市建設計画		
																☒	定住自立圏構想		
																☒	主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・本市における消防車両更新基準に基づき緊急出動に支障をきたすことのないよう更新整備を行います。 ・消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、化学消防車、救助工作車は「消防車両の安全基準について」に基づき15年。 ・はしご自動車は「消防車両の安全基準について」に基づき17年。ただし、安全性の確保のため更新までの間に2～3回のオーバーホールを実施。 ・高規格救急車は他の緊急車両と比較すると使用頻度が高く老朽化が早いいため12年を基準としますが安全性を考慮し走行距離15万kmも更新基準に加える。 ・指揮車、広報車、特殊車等、緊急車両以外の車両は更新基準15年。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・複雑・多様化する災害に対応するため、当市に必要な車両基準数を満たすよう、また現状の消防力を維持し消防の住民サービスの充実に目的として消防本部設立当初より継続して実施している。	・消防車両等の高機能化により購入価格が上昇傾向にある。 ・更新基準年数に近いまたは、経過している車両については故障、修理件数が増加傾向にある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
「安全で安心して生活のできるまちづくりをお願いします」とのご意見があった。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 需用費	0	千円	28,749	0	0	0	0	0
2. 役務費	84	千円	9	673	84	0	0	0
3. 備品購入費	269,118	千円	2,172	34,192	63,009	269,118	0	0
4. 公課費	231	千円	16	18	100	231	0	0
事業費計 (A)		千円	30,946	34,219	63,782	269,433	0	0
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 国庫支出金	0	千円						
2. 都道府県支出金	0	千円						
3. 地方債	258,500	千円			58,900	258,500	0	0
4. その他	0	千円						
5. 一般財源		千円	30,946	34,219	4,882	10,933	0	0

前年度増減理由	28年度は前年度と同じ3台の更新であったが、27年度とは違い3台全て消防用車両であったため、事業費が増となっている。
---------	--

従事職員数	常時	2人	最大	4人	×	30日	=	延べ	120人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	------

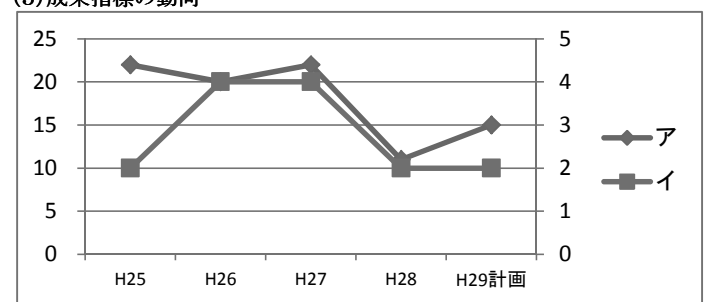
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) はしご付消防自動車の更新 1台 高規格救急車の更新 1台 消防ポンプ自動車の更新 1台		ア 消防車両の更新	台	1	1	3	3	0
			イ 排ガス浄化装置取り付け	台	1	0	0	0	0
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 消防車両等 意図 更新年月を迎えた消防車両等を計画的に更新することにより、住民への安全で安心な暮らしの消防住民サービスが提供できる。		ア 車両故障件数	件	22	20	22	11	15
			イ ポンプの故障件数	件	2	4	4	2	2

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	①	コスト比率
		かなりある			下位 1/3
	普通	ある程度ある		②	中位 1/3
	小さい	ほとんどない		③	上位 1/3
				④⑤	
				⑥	
				⑦⑧	
				⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項	④ 今後の方向性
	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ	時期 内容 例年通り	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)				
【コメント】(低下の場合、その理由)				
比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度
ア	6	Δ2	2	Δ11
イ	Δ2	2	0	Δ2
成果動向	毎年度 整備計画に沿った車両を更新する。			